

蓮如教団論

日本史・真宗史

きんりゅう
金龍

しずか
静著

▼A5判・上製函入・740頁・定価 一五、四〇〇円

2025年9月刊行

蓮如教団論

金龍 静著

法藏館

蓮如から顕如までの各宗主の事跡を軸に、戦国期本願寺教団の歴史と実像を、組織構造や法物類などの視点も交えて多角的に描き出す、長年の研究の集大成。

【目次】

序文
序論 中世一向宗の善知識観

【本論編】 戦国期歴代宗主の事跡

第一章 蓮如の事跡——本願寺教団の形成
第二章 実如の事跡——本願寺教団の実体化
第三章 証如の事跡——戦国期教団の確立
第四章 顕如の事跡——石山合戦
第五章 東西分派から近世教団へ

【各論編】

第六章 佛光寺・佛光寺派の前身
第七章 イエズス会関係史料中の一向宗
第八章 戦国期本願寺教団の裏書考
第九章 戦国期本願寺教団の法物考
第一〇章 卅日番衆考
第十一章 戦国期の本願寺内衆下間氏

【結論編】

第一二章 一向宗の宗派の成立
第一三章 戦国期蓮如教団の構造

引用史料一覧／あとがき／索引

◆著者略歴

金龍 静(きんりゅう しずか)

一九四九年北海道生まれ。名古屋大学大学院文学研究科博士課程退学。同文学部助手を経て、浄土真宗本願寺派円満寺住職となり現在に至る(法名・慶静)。元本願寺史料研究所副所長。主要著書『歴史文化ライブラリー21 蓮如』(吉川弘文館、一九九七年)、『一向一揆論』(吉川弘文館、二〇〇四年)など。

| | |
|-------------------------------|------------|
| 注文書 | |
| (書店印) | |
| ご担当 | 様 |
| 冊 | |
| 金龍 静著 | 法藏館 |
| 蓮如教団論 | 定価 一五、四〇〇円 |
| ISBN: 978-4-8318-7792-5 C3021 | ご住所 |
| お名前 | お電話 |

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp